From Kobe 2014年2月　毎年　気になる「鬼と共に」　古代　鬼にされた製鉄集団

【1】1.17.　阪神淡路大震災から19年　「神戸の記憶」

【2】2014年節分の鬼　「仲間としての鬼」に思う　古代　鬼にされた製鉄集団

凍りつくような寒さの中　真っ暗闇　物音ひとつしない瓦礫となった街並み
神戸を離れていた後ろめたさを胸に、黙りこくって　須磨の坂道を帰った夜のことは今も鮮明に。
そして、真っ暗闇の夜をみんながひとつの輪になって　お互い助け合って過ごした神戸の輪も。

「忘れない　忘れまい　響きあう心　希望を胸に」　　二度と出会いたくない体験と共に　生きてゆく支えに。

困難の中にいる人たちを思い浮かべ、　今元気でいる自分たちのありがたさを感謝しつつ

By Mutsu Nakanishi

From Kobe　2014年2月【2】　2014年節分の鬼　「仲間としての鬼」に思う

「鬼は外　福は内」から「福は内　鬼も内」へ
競争社会から成熟社会へ移行する日本に必要なのは「縄文かえり・心の優しさ」では・・・

奈良元興寺の厄除鬼「鬼は内　福は内」

神戸長田の森長田神社の節分･追雛式

東播磨稲美町野寺高薗寺の鬼追式

2月が近づくといつも気になる「鬼」。　人にわざわいをもたらす目に見えない隠れた者を 鬼（隠ﾆ）と呼んできた。
でも、ご承知のように　日本にはいろんな鬼がいる。

◎　本来の「鬼」　人にわざわいをもたらす目に見えない　隠れた恐ろしい鬼
◎　神や仏の化身の鬼
◎　まつろわぬ者として、施政者・統治者に鬼にされた鬼
◎　里人の中に生まれた仲間の「鬼」　どこか間が抜けていて　悪さもするが、人や村を助けてくれた鬼
　等々　数々の鬼が生まれた。

私はそんな鬼の中で「里人の中に生まれた仲間の鬼」が好きだ。節分の豆まきに「福は内　鬼も内」と唱えるという。
たたら製鉄と関係して各地で伝承されてきた「鬼」もそんな鬼。
本来「悪者・恐ろしい者」とされる「鬼」に対しても「仲間・親しみのある情」を抱く感情は幾多の事例の積み重ねではあろうが、縄文人が育んだ「こころの深さ」にルーツがあるのではないかと。
弥生人を日本のルーツと思い込む人たちによって　縄文人も「鬼」にされてしまった誤りもある
　「戦さを知らぬ縄文人」「こころの故郷・心やさしき縄文人」としてしばしば語られる「縄文」
　「日本人の心の奥深さ・多様なこころ」がそこにある。
今大きくクローズアップされている**「お・も・て・な・し」ではない「おもてなし」の心**　もここにある。
「縄文人がこれらの「心の深さ」を育んだのは　母系社会だったからで、
　子孫を残せる母親たちが社会を組んでいたから　全体で生活できる余裕ができたのだ」という人がいる。
　母親たちだからこそ　分け隔てなく子供たちを全体で育て　子孫を残すことができたとも。
いつも繰り返す「縄文がえり」にはっと気がつく。　今　考えねばならぬのは　これではないか・・・・・

新興発展途上国との競争に耐えられなくなり、競争発展社会から成熟社会への移行を余儀なくなされている日本。
いつまでも競争発展の幻想に付きまとわれても仕方なし。若者が主導する成熟社会の展開を今進めなければと・・・。
　縄文から弥生の時代へ　山や丘から平地に下りて農耕が始まると、治水・農地などを巡る戦さが勃発し、
　必然的に強力なリーダー必要となり、母系から父系への社会変革が急速に進んでいった。
　これに伴って　母系社会が懐に持っていた「心の奥深さ」が次第に父系社会の奥底に埋没してしまった。
　子孫繁栄の社会展開も自分の子孫を守ることに必死になり、他を顧みられなくなって、村社会が広がってゆく。
今の日本とどこが違うのだろうか・・・・　発展競争社会の歪が広がる現在　村社会は益々広がってゆく。
今ブレーキーをふまねば・・・・。　いでよ　鬼たちよ!!　と。
今一度社会のお底に潜んでしまった「心の奥深さ」「仲間としての鬼」への思いを呼び戻さねば・・・・・
縄文かえりの勧めです。

二度にわたる未曽有の大震災に心の奥底にある「縁」「絆」に揺り動かされ、数多くの人たちが立ちあがったが、
それらを含め、現在　数多くのNPOの活動の停滞が問題となっているという。
その一番大きな原因は活発なNPOであればある程強力なリーダーが一人で仕事を背負いすぎて、独高の活動のため、長期的には連鎖的活動が広がってゆかないのが原因だという。

NPO の活性化にはリーダーたちがそれを自覚し、個々それぞれの NPO のストーリーを語り、
コミニュケーションと仕事分担で　自然的活動連鎖を担うリーダーを次々と増やすことしか道はないという。
目に見えぬ連鎖を相互が感じあう組織のひろがりが必要で、「強力なリーダーのもと一致団結して・・・」では広がってゆかぬという。

縄文の暮らしもそうですが、これは　まさに　カカア天下の極意　　納得できる話である。
意識するしないにかかわらず、「全体をながめる余裕」が随所に生まれて　初めて持続的な組織へ活性化すると。
高度情報化社会の実現を旗印に　過度の IT 情報化　〇X 式の二値化の即物的な対応で進んできた発展競争社会の推進力では　成熟社会への道筋は到底描けない。　年寄り　若者にかかわらず、現在日本に突き付けられた課題である。
「鬼は外　福は内」から「福は内　鬼も内」へ
心の奥底にしまいこんだ「心のやさしさ」「おもてなし」の「日本人の心の故郷」に立ち帰ろう。

「仲間としての鬼」たちが今に残している言葉を下記に。
今　鬼に思いをはせてみたい。

2014 年 2 月　「仲間としての鬼」への共感
By Mutsu Nakanishi

≪　鬼の起源　そして　たたら製鉄集団と鬼　≫

鬼の起源は中国。中国文化の移入と一緒に「鬼」が日本に入ってきたといわれる。
古くは、中国で　生者の陽に対して死者を陰とし、死者の霊を鬼と言った（先祖の霊を鬼として崇拝した）が、わが国に「鬼」が入ると、陰陽五行説の影響で鬼は恐ろしいもの、人を食う怪物となり、また、仏教の影響で餓鬼から 青鬼・赤鬼が生まれた。 また、鬼は牛のような角、虎のような牙と虎の皮のふんどしを付けた姿で描かれるが、これは「鬼門［＝北東］」という言葉からもわかるように、鬼の住む北東が十二支の丑寅（牛、虎）にあたるからである。
古代　中央集権的統治が進んでゆく過程で、統治・権力者によって、まつろわぬ者として　集団に入らぬ異文化の集団や地方豪族たちを「鬼」として血祭りにあげて排除する「日本の鬼：人にわざわいをもたらす恐ろしい者」が作られた。
ヤマト王権が中央集権国家を築いてゆく過程で、　山で暮らす鉱山師・産鉄集団やろくろ師などの異文化・特殊技能集団や中央統治者に抵抗する地方豪族などが　各地のまつろわぬ者として「鬼」にされた。
これらの「日本の鬼」にされた人たちや集団に対して、里人・民衆はひそかに連綿と続く相互交流・互恵などを通して心を通わし、統治者とは異なる仲間意識・感情を「鬼」に持ち、数々の「憎めぬ鬼」「村を助けた鬼」などの民間説話を各地に残している。

青森　岩木山(巖鬼山)山麓　鬼の里「鬼沢」

津軽　岩木山麓　鬼沢に伝わる「鬼伝説」
青森県　弘前市　鬼沢

昔々このあたりはやせた荒れ地で、作物の実りはきわめて悪かった。そこへ、岩木山の赤倉から下りてきたという鬼が現れ、せっせとこの荒地を耕し始めた。 村人達は、これを見て、ただの鬼ではないと思い、開墾の困難と農業用水の必要を鬼に訴えた。
すると鬼は、それでは力を貸そうと言ったきり、姿を消してしまった。翌朝になって村人たちが行ってみると荒れ地には、一筋の水の流れが勢いよくほとばしっているではないか。
村人たちは、さっそくその水を田に引き、以後、その水は干ばつの時も決して枯れることはなかったという。
村人たちは、非常に喜んで、鬼に感謝するため、神社を建立して「鬼神社」と名づけ、村の名前も「鬼沢」としたという

特に　里人にとって　山中でたたら製鉄を営む産鉄集団には樹木を切って山を丸裸にし、洪水を引き起こす大量の土砂を流す山の異文化集団として怖れる一方、彼らの作る鉄製品は農耕具として農耕・治水を飛躍的に向上させ、争いの工具・武器としてもその恩恵に心通わし、古代製鉄がおこなわれた地域には必ずと云っていいほど「鬼」伝説が伝承されており、節分に「福は内　鬼は外」の豆まきに「福は内　鬼も内」と唱える里もあるという。

◎　奥出雲ヤマタノオロチ　　鳥取伯耆の鬼　　吉備の鬼　丹後大江山の鬼　東北岩木山の鬼等々

◎　日本各地には　鬼面山・巌鬼山(岩木山)　鬼ノ城など鬼の名のついた山も数多く残っている。

◎　岩木山の麓弘前市鬼沢の集落には鬼神社があり、鬼が耕作してくれたとの伝承に故ずいて
数々の農耕具が奉納・祭られ、弘前ねぷた には　鬼の里として鬼のねぷたを出す。

◎　北上市は　蕨手刀(日本刀のルーツのひとつ)を振りかざし、ヤマト王権と闘い、
鬼とされた蝦夷の族長「アテルイ」を誇り、

「　あの高嶺　鬼すむ誇り
その瀬音　　久遠の賛歌
この大地　　燃えたついのち
ここは　北上　　」
の市民憲章を持っている。

◎　出雲風土記にも　古い鬼の記述があるという。

「古老の伝へて曰く、
昔、或る人、此処に山田を佃り守る
爾の時、目一つの鬼　来たり、佃る人の男を食ふ
爾の時、男の父母、竹原の中に隠れ居りし時に、竹の葉動げり
爾の時、食はるる男、動動と云ふ。故、阿欲といふ」

(訳)ある人が山田を作り守っていたところ、一つ目の鬼がやって来てその息子を食べてしまった。
その時　両親は竹原の中に隠れていたが、その時竹の葉がそよいだ。
その時　食われる息子が「あよあよ」と云った、そこで地名を阿欲という。
この記述は阿欲(あよ)と言う地名の由来の説明書で、一つ目の鬼が現れて人を食うと言う事態を物語っている。

古代にはこうした怪物としての鬼が実在感をもって語られていた。

鬼の国、異界日本(1)　http://homepage2.nifty.com/sukecial/oni/index.htm　より

製鉄神は「一つ目」とする伝承も数多く残っており、ヤマタノオロチとスサノオ伝承を含め、
出雲とたたら製鉄の関係を表しているのかもしれぬ。

真金吹く吉備　総社平野の北側　壁のように連なる鬼城山の「鬼ノ城」と吉備中山「吉備津神社」

鹿角　大湯ストーンサークル

鷹巣　伊勢堂岱遺跡

青森　小牧野遺跡

縄文のこころを映すストーンサークル

「鬼」から生まれた言葉　ことわざ　　http://nohmask21.com/oni/prover_j.html より

「ことわざ」が今に伝わるのは、広く人々が愛し続けてきたから

人に災いをもたらす怖い鬼というより　ユーモラスな仲間としての鬼

「明日は我が身」鬼の姿が見えてくるようです

◆　**来年のことを言えば鬼が笑う**

あれこれと未来について予測、あるいは期待してものをいうと鬼が嘲笑する。

人は未来について前もって知ることはできないということのたとえ。

また、未来のことはあてにならないという意味もある。

◆　**渡る世間に鬼はない**

世間には鬼のように冷たい人ばかりでなく、心が温かくて親切な人もいるというたとえ。

◆　**鬼の首を取ったよう**

大手柄をたてたように有頂天になるさま。

◆　**鬼の目にも涙**（冷酷な鬼でも時には人情が通じて涙を流すことがあるということから）

ふだん厳しく無慈悲な人でも、たまには情に感じて慈悲心をおこし、優しい態度をとることがあるということ。

◆　**鬼に金棒**　（強く恐ろしい鬼にさらに強力な武器を持たせることから）　ただでさえ強いうえに、さらに強力なものが加わることのたとえ。鬼と鉄とは切っても切れぬ　いつも鉄が似合っています

◆　**鬼の居ぬ間に洗濯**

主人やうるさい者などがいないすきに、息抜きをし、ひと休みすること。

（参考）「洗濯」は命の洗濯の意で、息抜き。

◆　**鬼の霍乱**　おにのかくらん

鬼の霍乱とは、普段はとても丈夫な人が、珍しく病気になることのたとえ。

病気などしたことない人を、強くて丈夫な鬼にたとえ、鬼が霍乱で患うようだという意味から。

「霍乱」とは、漢方医学用語で日射病や食中毒のこと

◆　**疑心暗鬼を生ず**

疑心暗鬼を生ずとは、疑いの心をもって見ると、なんでもないことでも疑わしく見えてくるということのたとえ。

心に疑いがあると、様々な不安や妄想を掻き立てられ、なんでもないことでも恐ろしく思えたり、疑わしく思えたりするものである。疑いの心をもっていると、暗闇の中にいるはずのない鬼の姿が見えたりするということから。

◆　**鬼も角折る**

鬼のように凶悪な者でも、ふとしたきっかけで善人になることのたとえ。

非常にかたくなで自分の考えや態度を変えようとしなかった者が、態度を一変させること。

◆　**鬼も一八番茶も出花**（摘み残りの質の劣る番茶でも、出花［湯をそそいだばかりのもの］は、よい香りがすることから）

どんなに器量の悪い女でも、年頃になれば娘らしくなり、男女の心の機微も理解するようになるというたとえ。

◆　**鬼も寝る間**（恐ろしい鬼でさえ必ず眠っているときはあることから）　どんな人間にも必ずすきはあるということ。

◆　**鬼も頼めば　人食わぬ**

どれほど相手のしたいことであっても、こちらから頼むとあれこれ理由をつけて承知してくれないもの。

◆　**知らぬ仏より馴染みの鬼**

たとえどんな相手であっても、親しみのない者よりは、なれ親しんだ者の方がよいということ。

［知らぬ神より馴染みの鬼］ともいう。

◆ **鬼に衣**

1.（鬼は裸で生活しているところから）不必要なもののたとえ。

2.（鬼が僧衣を着ていることから）一見したところはやさしそうにみえるが、心の中は恐ろしいことのたとえ。

◆ **鬼の起請**

文字は拙劣だが筆に勢いがあることをいう。

（参考）「起請」は人と人との約束や契約を神仏を仲介してとりかわすことで、その誓いの内容を書いたものを「起請文」といった。起請文は権威のあるものとされていたために、筆に勢いのある文字が書かれた。

◆ **鬼の念仏**　「鬼の空念仏」ともいう。（恐ろしくて残忍な鬼が念仏をとなえることから）

1．無慈悲で残酷な心を持った者が、うわべだけ慈悲深そうにふるまうこと。

2．柄にもなくおとなしそうに、殊勝らしくふるまうことをひやかしていう。

参　考　　和鉄の道　by Mutsu Nakanishi

◆ **和鉄の道 Iron Road 「鬼」伝承関連地　探訪リスト**

http://www.infokkkna.com/dock/mutsu/1402onitanpoulist.pdf

◆ **西神戸　摂播国境に残る「神や仏の化身の鬼」の追雛式**

白川街道「妙法寺」新年招福の追雛式　10匹の鬼が舞い踊る 2013.1.3.

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/13iron01.pdf

◆ **和鉄の道 Iron Road「日本各地鬼伝説」 掲載リスト**

http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/13iron01list.pdf

◎ **新書藻谷浩介・NHK広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介**

「里山資本主義 ＆　内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践

http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1309.pdf

◎ **縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村**

http://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1011.pdf

◎ **縄文の心を映すストーンサークル**

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron13.pdf

◎ **「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」 視聴・購読メモ**

http://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/iron8/1204human.pdf

◎ **和鉄の道　Iron Road 「縄文」掲載リスト**

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/ironjyomon.htm

奈良元興寺の厄除鬼「鬼は内 福は内」

神戸長田の森長田神社の節分･追雛式

東播磨稲美町野寺高薗寺の鬼追式

鹿角　大湯ストーンサークル

鷹巣　伊勢堂岱遺跡

青森　小牧野遺跡

縄文のこころを映すストーンサークル

和鉄の道・Iron Road　「鬼」伝承関連地　探訪リスト　　2014.2.5.

吉備国　「桃太郎伝説」の鬼ケ城・　吉備津神社

1. 古代鉄の大王国　山陰　伯耆国　溝口の鬼 伝説と大山山麓の大製鉄遺跡群　2000.3.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa05.pdf
2. 古代鉄の大王国　津軽　岩木山北山麓　鬼伝説と古代津 軽の大製鉄地帯　2000.3.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa06.pdf
3. 弘前ねぷたと岩木山北麓　鬼伝説の里　　鬼沢　鬼神 社・十腰内　巌鬼山神社を訪ねて　2000.8.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa08.pdf
4. 鬼の住む山　大江山　　鬼の伝説 に「Iron Road」のロマンをかきたてて　2001.8.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb06.pdf
5. 日本各地の鬼伝説　鬼伝承の鬼は本当に悪者か????　2002.2.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb10.pdf
6. 真金吹く吉備国　　吉備の鉄 と桃太郎伝説　2002.3.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb11.pdf
7. 「あの高嶺　鬼住む誇り・・・」と唄う北上市市民憲章　北上江釣子・砂鉄川・蔵王　2003.7.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/8etsuriko.pdf
8. 蝦夷の鉄・ 東北　和鉄の道　　東北地方　和鉄の道　9編　取りまとめ　　2004.1.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf
9. 日本三彦山の一つ　越後弥彦山　Walk　古代鉄の国「越」　弥彦山に鍛治神の痕跡を探して　2007.5.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron10.pdf
10. 桃太郎伝説の吉備路 walk 鬼ノ城を訪ねる　2010.1.15.
    唐の侵攻に備えた古代７世紀の朝鮮式山城　「鬼ノ城」の中に鍛冶工房があった
    http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/10iron02.pdf
11. 神戸の鬼 鬼の舞を追う　　2012 年 2 月　2012.2.
    神戸長田の森「長田神社の鬼」と 稲美町野寺「高薗寺の鬼」
    http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/12iron02.pdf
12. 出雲神楽「八岐大蛇」を鑑賞　淡路島　伊弉諾神宮　神楽祭　2012.9.23.
    http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/12iron08.pdf
13. 西神戸　摂播国境に残る「神や仏の化身の鬼」の追儺式
    白川街道「妙法寺」新年招福の追儺式　10 匹の鬼が舞い踊る　2013.1.3.
    参考「日本各地鬼伝説」 和鉄の道・Iron Road 掲載リスト
    http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/13iron01.pdf

2012年２月 ３日　神戸長田の森長田神社の節分・追儺式

2012 年２月 10 日夕　東播磨稲美町野寺高薗寺の鬼追式